

平成28年度 大阪大学 教員免許状更新講習＜選択必修領域＞

受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類
又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

保護者・地域住民と 学校のトラブル解決に向けて

この講習は対面型でもさらにワークショップなどの、いわゆる参加型の演習を取り入れた方式の講習であることを理解されて申し込んでください。

講師

小野田 正利（大阪大学大学院教授・人間科学研究科）

対象者

幼稚園・小学校・中学校・
高校・特別支援学校 教諭

定員

30名

受講料

6,000円

場所

大阪大学 吹田キャンパス 人間科学研究科

開催
日時

7/23(土) 9:30 ~ 17:30
※テスト時間含む

時間数

6時間



【お願い】昼の弁当を持参してください(昼食時を交流の機会にします)。

※講習の詳細内容は裏面参照。

(注意)

講習内容はやむを得ず変更することがあります。

講習の申し込み期間は平成28年5月19日～5月24日です。

※先着順受付ではありません。修了確認期限が平成29年3月末の方を優先的に受け付けとします。

→定員を超えての申し込みがあった場合は抽選とします。

申し込みは、メールでも、FAXでも、郵送でもかまいません。

具体的な申込方法は、大阪大学ホームページの案内をご参照ください。

⇒大阪大学ホームページ 教員免許状更新講習

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/career/teacher/Training>

講習内容

保護者と学校・教職員のトラブルに悩む関係者は多くいます。学校は子どもたちの成長発達を保障する場ですから、昔から保護者からの要求はいろんな形で出されてきましたが、近年はその内容が苦情を超えた無理難題要求に発展していったり、子どもどうしのいさかいや摩擦が、そのまま保護者どうしのトラブルに発展したり、学校と保護者の話し合いの接点すらもてない事態にまで及ぶことは珍しくはなくなりました。そしてこのような現象は、けっして都市部特有の課題ではなく、農山村部でも地方都市でも急増しています。

その最大の問題は、このことで教職員のモチベーションが下がったり、教育活動に支障が出たり、学校の機能がマヒすることで、子どもたちにとって楽しいはずの学舎が傾いていくことがあります。いじめ・不登校・非行や暴力といった昔からの教育課題に加えて、いまこの「保護者対応問題」がラインナップされたともいえるでしょう。加えて、いくつかの地域では近隣住民とのトラブルも増加傾向にあります。

実施責任者は、もっとも早くからこれらの現象や課題に注目し、解決のための方向性の提示や教職員の力量形成に取り組んできた一人です。それらの成果を、興味・関心ある更新講習受講者に伝えつつ、それぞれの学校の課題を自らが少しずつ解決へともっていけるような内容の選択必修講習を組みました。講義と演習（ワークショップ）の組み合わせで実施します。

【内容】（順番や進行速度は変わります）

保護者対応トラブルの現象を分析する/受講者間でいくつかの具体例を共有しましょう/学校の側が“モンスター”に仕立てあげていないか？/怒りの拳のみなもとにあるものは何か、本訴はなにか？/対応が難しくなるケースを見定める/校内研修会で使える教材づくり/学校近隣トラブルの場合は？/トラブルの見立て（アセスメント）と出口の探し方/ワークショップ①ロール・プレイング～保護者の立場になると教職員の態度にむかつく自分がいる/ワークショップ②エコロジカル・マップづくり～対応の困難なトラブル事案の解決の出口を見つける/子どもの成長を共に喜び合える保護者と教師であり続けるために必要なこと

* 但しご注意を！ 私からの奥義の伝授なんてありません。あなたの経験と発想の中から引き出すものです。“元気と自信”を共有していただければと思います。

[問い合わせ先]

大阪大学教育・学生支援部教育企画課学務係

(TEL) 06-6879-7107

(Mail) koshin-edu@ml.office.osaka-u.ac.jp